

けいすい

2026年 夏休みをふりかえる

長い夏休みが終わりました。子どもたちは楽しい夏休みを過ごすことができたと思います。この夏は地震や台風、そして大雨と災害に見舞われた夏となりました。7月28日の“令和8年熊本地震”発生は衝撃的でした。私もけたたましくなり響く緊急地震速報を知らせるサイレンと、しばらく続いた揺れに大きな不安を感じました。約10年前に大きな地震を経験された熊本の方は一層の恐怖を感じられたと思います。目に見えて復興してきた矢先の再度の地震に復興への希望や気持ちがそがれないことを信じ、被災された方が一日も早く平穏な日常をとりもどされることを願っています。また、8月13日から14日にかけては千葉県を中心に関東地方で集中豪雨が発生しました。千葉市では平年一か月分の3倍以上という激しい雨が降り、車に閉じ込められるなどして多くの方がお亡くなりになりました。今日9月1日は「防災の日」です。この夏におきた大きな災害をもとに、自分自身災害の備えについてもう考える日にしたいと思います。

よろしくお願いします

~I LOOK FORWARD TO WORKING WITH YOU~

育児休業を取得しておりました〇〇養護教諭が、2学期より本校に復帰し、再び保健室を担当することとなりました。子どもたちが毎日笑顔で、心身ともに穏やかに学校生活を送ることができるようサポートしていきます。変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いします。合わせて、9月1日より、養護教諭実習生が北小学校にて実習を行います。北小学校の卒業生であり、子どもたちの先輩です。未来の養護教諭をめざして、子どもたちと一緒に活動しながら学びを深めていきます。



〇〇養護教諭

2学期！今の自分を“こえていく”

“The second semester is here! Time to surpass my current self!”

北小に子どもたちの元気な声が戻り、いよいよ2学期のスタートです。学校生活の1年間はよく陸上の「三段跳び」に喩えられます。1年のはじまりであり助走となる「ホップの1学期」、そのエネルギーを最後につなげる重要な「ステップの2学期」、そして全ての力を集結させて大きく飛躍する「ジャンプの3学期」です。この「ステップの2学期」に、子どもたちがどのような経験をし、どれだけ粘り強く頑張れるかが、年間を通した大きな成長と飛躍を決める鍵となります。

そこで、北小では以下に示す「6つの重点事項」を掲げ、取組を進めていきます。

1 落ち着いた学習・生活環境を整える

(静けさとしっとり感)

授業中のざわつきや落ち着き無さについて、保護者の方からもご意見をいただきました。授業中はもちろんのこと、学校生活全般において「静けさとしっとり感」のある落ち着いた雰囲気でお過ごせるように指導していきます。

そのために、一日のスタートを工夫します。また、授業では先生の指示や説明を少なくし、児童の主体性を生かした授業とします。

2 予習型授業のさらなる浸透

学力向上として取り組んでいる予習型の授業をさらに進めていきます。課題となっている習熟と活用の時間を十分に位置付けられるよう授業の進め方を工夫します。さらに、予習型を生かした家庭学習を進めることで、主体的な学習姿勢を育成します。

3 基礎学力の向上

「のびのびタイム」を中心に、読み・書き・計算の力を高めます。2学期はそれらに加えて「読解力」の向上を図ります。問題の読み方や資料の読み方を十分に指導し学力向上を図ります。

4 ICTの効果的な活用

本校の特徴でもあるICT活用をさらに進めます。特に授業における有効な活用法を実践し、子どもたちの思考力や表現力を伸ばしていけるよう取り組みます。

5 家庭との連携

学校教育は、学校単独で成り立つものではありません。同じ目標をもち、学校と家庭が足並みをそろえて指導していくことが大切です。2学期も子どもたちの様子を知っていただくために参観等の機会を設け、多くの保護者の皆様にご来校いただけるよう「開かれた学校づくり」に努めます。

6 地域との連携・協働

「地域の中の学校」として、2学期も地域の方々と連携・協働しながら教育活動を進めます。地域の魅力を知る体験活動を各学年で計画し、実践します。

2学期も、北小に関わるすべての人が「北小は、いい学校だ！北小は、最高だ！」と思えるよう、教職員一丸となって教育活動を進めていきます。今学期も皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。